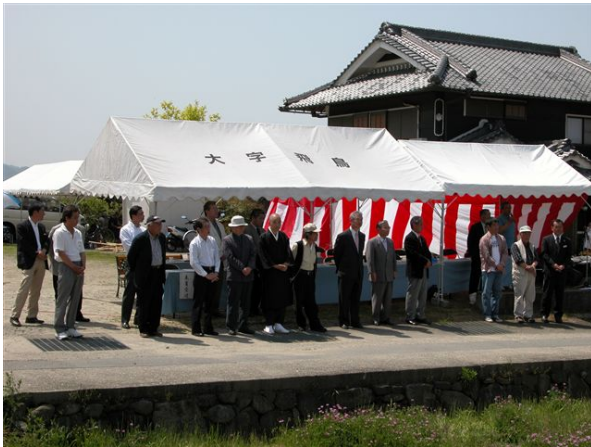


## 快晴のもと「大字飛鳥れんげ祭り」に参加

快晴の春の陽ざしを受けて「大字飛鳥れんげ祭り」が開催され、景観ボランティア明日香も招待されて三木会長と福田事務局長（あすか夢耕社事務局長）が来賓として参加しました。

大字飛鳥地区は昨年のワーキングホリデーで甘樫丘沿いの飛鳥川の除草と清掃活動をしたところで澤田総代からのご好意で私（長尾）も参加してきました。水田の閑耕地一面に、ほぼ満開となったれんげは、昨年秋から地元の人たちが共同で種子をまき育てたものです。飛鳥寺を背景にした会場では、まず、関村長、村会議員らが出席して開会のセレモニーが行われました。



・三木会長も来賓として紹介される（左から4人目）



・満開に近いれんげ畑で地元の方も多数参加

午前のプログラムの目玉は、奈良県香芝市出身女性シンガー「かぐや-KAGUYA-」さんの歌謡ショー。2度もがんと闘い、シンガーとして社会復帰した「かぐや」さんは、スリムな体に張りのある歌唱力で「君こそわが命」、「歌そうそう」、自らが作詞、作曲された「愛し君」ほか9曲を約1時間にわたり、語りを混じえて熱唱。れんげ畑の中、紫のロングドレス姿は飛鳥寺を背景にした「飛鳥の景観」に溶け込み、参加者一同が、いにしえのロマンを感じながら聞き入りました。



・青空と飛鳥寺を背景に「かぐや」さんの熱唱



・豊かな歌唱力、その躍動感がれんげ畑に広がった

午後は飛鳥寺の境内で、わが国の蹴鞠（けまり）のルーツである「飛鳥蹴鞠」の実演がありました。澤田総代のあいさつの後、飛鳥寺住職からこの蹴鞠の由来について説明があり、奉納されていた鞠が住職から、蹴鞠保存会の代表に手渡され、掛け声とともに実演が始まりました。

白衣装と紫衣装のチームに分かれての競技で、淡山神社の蹴鞠が優雅に行われているのに対して、飛鳥蹴鞠はもともと兵士の体力アップが目的とされ、攻撃的な演技が特徴です。力強く勇壮なプレーで、鹿皮の鞠が何度も高く宙を舞い、古代のロマンあふれるスポーツイベントとなりました。



・見物者も多い中で、白装束と紫装束の各4人での勇壮で力強い競技が実演されました

(2009年4月19日 運営委員 長尾輝治)